

尼崎市立園田東小学校にあった野鳥の巣

2014年10月

出本眞次（いでもとしんじ）

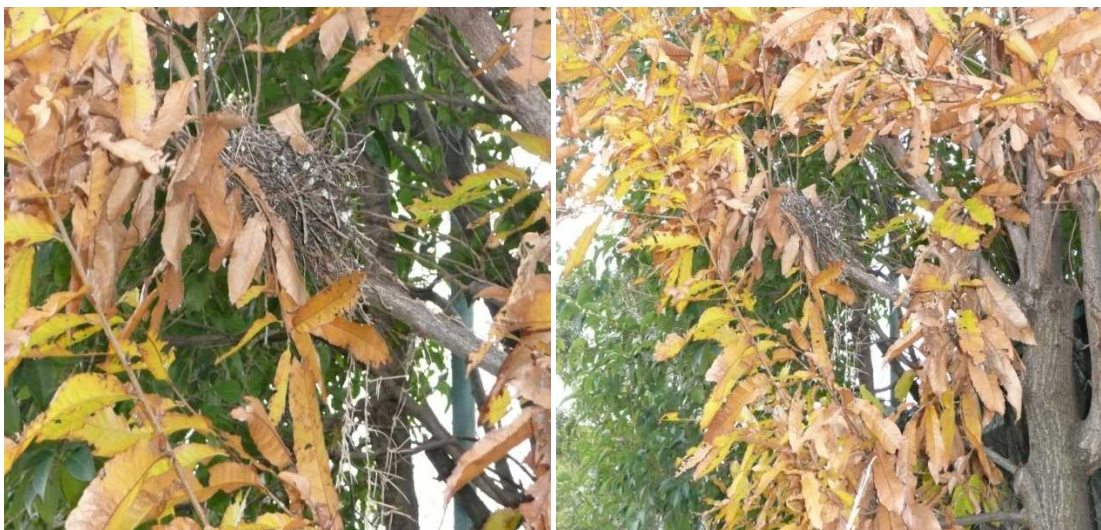
園田東小学校には、たくさんの木が植えられています。大きくなる木、あまり大きくならない木、花の咲く木、実のなる木などがあります。秋から冬にかけて寒くなると木の葉が落ちてしまう落葉樹、葉っぱの色が黄色や赤色に紅葉して緑の葉っぱとちがった色がきれいに見えます。また寒い冬になっても木の葉が落ちない常緑樹もあります。春から夏、秋、冬と季節のうつりかわりで校庭の木々がかわって見えます。

校庭の木々には多くの野鳥がやってきます。藻川と猪名川にかこまれた東小学校は、自然に恵まれていて時には町のなかではめずらしい猛禽類（もうきんるい、ワシ、タカの仲間）のチョウゲンボウもやってきます。

冬の季節は、木の葉も落ちてきて木々の間がよく見えます。小鳥の鳴き声が聞こえたらその方向を見てみると小鳥がいると思います。鳥も鳴き方、飛び方が鳥によって少しずつ違います。

鳥たちは、園田東小学校の校庭の木々の中で時に静かに生息しています。小学校の木にできた鳥たちの巣の写真をいくつか写してみました。

クヌギの木に巣をつくっていた



キジバトの巣

桜の木に巣をつくっていた



鳥の巣 (未確認)

高い高い照明塔に巣をつくっていた



ハシブトガラスの巣